

保健管理

センターだより No.49 平成31年3月



目次

ネット依存について	中村 準一	1
感染症を予防しましょう～予防接種について～	三島 香津子	3
9年に1回！一大イベントの裏側レポート ～第48回中国四国保健管理研究集会報告 番外編～	浜本 扇代	7
学生と筋トレ	松原 典子	11
ごあいさつ	長谷 貴子	13
平成30年度学生健康診断結果について	浜本扇代・松原典子	14
平成30年度健康相談集計（学生・職員）	//	18
平成30年度学生教育研究災害傷害保険請求状況	平木由布	22
学研災・学研賠加入状況	//	23
掲示板		24

鳥取大学保健管理センター

この保健管理センターだよりは、ホームページにも掲載しています。

<https://www.tottori-u.ac.jp/2135.htm>

ネット依存について

保健管理センター所長 中村準一

はじめに

世界的なインターネットの急速な普及にとともに、パソコンやスマートフォンを操作する時間が長くなっている。昼夜を問わず、歩行中、列車・電車・バスに乗車中、食事中、家族・友人との会話中も、風呂場でもトイレでも、端末を離すことができない人がいる。すでに端末が身体の一部になっていると言っても過言ではないような状態である。

このような状況下、“インターネット依存症”の問題が注目を浴びるようになった。ネットにのめり込むあまり、日常生活・社会生活に支障がみられたり、心身に健康障害が生じたりするようになネット依存者が増加傾向にある。このネット依存は、中高生に限られたことではなく、子供から大人まで、大学生でも深刻な問題になってきている。

今回は、樋口進先生の論文（きょうの健康 2014年9月号）を参考にさせていただき、ネット依存症について説明したいと思う。

1. ネット依存患者数

成人を対象にしたネット依存症に関する調査（2008年）によると、ネット依存傾向にある成人は、271万人に上ると推測された。未成年を含めるとその依存患者数はさらに増えたと考えられ、日本で初めて、神奈川県国立病院機構久里浜医療センターにネット依存症に対応するための専門外来が設置された。久里浜医療センター専門外来を受診した患者さんの年代はさまざまであり、中学生・高校生が半分以上を占めており、大学生も含めると8割は若い世代とのことである。最近では、低年齢化が進み、小学生の受診もあるとのことである。

厚生労働省研究班による調査（2012年）によると、学業以外に1日5時間以上ネットを利用

する中学生は約9%、高校生は約15%であり、その内の約8%（約52万人）の中高生がネット依存症の可能性が強く疑われている。最近では、スマホを使用したSNSなどの依存症が増えているとのことである。

2. あなたもネット依存症ではありませんか？

樋口先生はネット依存症の診察において3つの目安を設けて診断されているとのことである。以下にその目安を挙げてみる。

1) ネットをやめられず、使用時間を自分ではコントロールできない

心がネットに囚われてしまい、ネット使用を渴望し、無理やりネット使用を禁止されると、イライラしたり、無気力になるなどの症状がみられる。

2) 身体や心の健康にさまざまな問題が生じている

何時間もネットを使用するため身体や心にさまざまな問題が生じる。

① 睡眠障害

ネット依存により、昼夜が逆転し、そのために登校できなくなったり、登校しても授業中に居眠りをしてしまう。

② 体力低下

運動不足のため、多くの依存症患者さんで体力の低下がみられる。

③ 栄養不足

ネットに夢中になるあまり、食事をとらなくなる、食事をとったとしてもカップラーメン、宅配ピザを1日1食しか食べないなど、良好な栄養状態を保つことができなくなる。

④ 骨密度の低下

原因は、運動不足にある。骨がもろく

なり、骨折しやすく、骨粗鬆症になることもある。

3) 家庭や学校生活に問題が生じている

遅刻が目立つ、登校できない、授業中の居眠りが多い、食事をとらない、生活リズムが乱れるなど、日常生活・学校生活に支障がある。

上記のうち1)と2)、あるいは1)と3)が当てはまる場合は、ネット依存症の治療対象になる。

3. 予防と改善について

1) 端末を購入する前の対応

本人と保護者が利用方法の約束ごとを決めておくことが大切である。使用に関する決まり(使用時間、使用場所、制限枠など)を作成する。もしも、その決まりが守れないときの対処についてもよく話し合っておく必要がある。

また、ネットには犯罪や個人情報の流出などのトラブルが生じる危険性があることも、理解して使用することも大切である。

2) 依存症が疑われる場合の対応

- ① まず、使用の決まりについて再確認し、よく話し合う。
- ② 1日の行動記録をつけるように助言し、使用の決まりが守れているかどうか、本人自身に確認してもらう。
- ③ ネット以外で楽しめる時間を提案し、趣味の世界を広げる。例えば、散歩、サ

イクリング、映画、音楽、料理など、現実社会の中で実感しながら楽しめる時間を徐々に増やしていく。

ネット依存症は、ネットに囚われてしまい、自分で自分をコントロールできない状態である。したがって、治療の目的は使用の決まりを守り、使用時間をコントロールできるようにすることである。

家族だけでは対応できない場合には、学校の教員、学校医、カウンセラーに相談したり、専門外来を紹介してもらうなど、本人、保護者、教員、相談機関などと連携することが大切である。

ネットを上手に使い、ネットに使われないように気をつけましょう。

参考図書

樋口 進：子どものネット依存症、きょうの健康(9月号)、pp 78-81、日本放送出版協会、東京、2014



“熟睡によりストレス解消”

感染症を予防しましょう～予防接種について～

保健管理センター 医師 三島香津子

感染症とは、ウイルスや細菌などの病原体が私達の身体に入ること（＝感染すること）で発症する病気です。種類も、その症状も様々ですが、健康に重大な影響を及ぼす可能性があります。そのため、感染症を予防するために、ワクチンが開発されています。

ワクチンとは、ウイルスや細菌の病原性や毒素を弱めたり無くしたものです。これを人に接種すると、身体の中に、病原体に対する免疫の記憶（抵抗力）が残ります。そして、その病原体に感染した時、この免疫が反応し、身体を感染症から守ります。このワクチンを接種することを、予防接種といいます。

1. ワクチンで予防出来る感染症（病気）

ワクチンで予防出来る感染症（病気）を、表 1 に示します。

表 1 ワクチンで予防出来る感染症

	予防接種法で定期接種が定められた 感染症	任意で予防接種が受けられる 感染症
ウイルスによる感染症	麻疹（はしか） 風疹 水痘 日本脳炎 B型肝炎 ポリオ インフルエンザ*1 ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん）*2	インフルエンザ*1 A型肝炎 狂犬病 黄熱 流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ） ロタウイルス ダニ媒介脳炎*4
細菌による感染症	破傷風 百日咳 ジフテリア 結核 インフルエンザ菌 b 型（Hib）による感染症 肺炎球菌による感染症*3	髄膜炎菌感染症 腸チフス*4 コレラ*4

*1 60～65歳で定められた疾患に該当する場合と65歳以上は定期、それ以外は任意。

*2 現在、積極的な勧奨は差し控えられています。ただし、定期接種としては接種可能です。

*3 5歳までは13価結合型、60～65歳で定められた疾患に該当する場合と65歳以上は23価多糖体を接種。

*4 国内では未承認のワクチン。接種を希望する場合は、検疫所に相談が必要。

定期予防接種は、政令で接種対象年齢（主に乳幼児から学童期）が定められています。その年齢以外で接種する場合は、任意接種となります。

2. 感染経路

感染症は、それぞれ感染する経路が異なっており、大きく以下の4つに分類されます。

(1) 飛沫感染

咳や会話で飛び散るしぶき（飛沫）を吸い込むことで感染する病気です。近くの人から感染します。

風疹、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、百日咳、ジフテリア、インフルエンザ菌b型、肺炎球菌、髄膜炎菌、等の感染症が該当します。予防接種はありませんが、一般的な風邪や、マイコプラズマも、飛沫感染です。

(2) 空気感染（飛沫核感染）

空気中を漂っている病原体（微細な粒子～飛沫核～）を吸い込むことで感染します。離れていても感染し、より多くの人々が感染する可能性があります。

麻疹、水痘、結核、等の感染症が該当します。

(3) 媒介物感染

病原体で汚染されたものを介して感染します。

① 経口・糞便から感染：糞便中に生存する病原体が、口から身体に入り感染します。また、汚染された水等からも感染します。ポリオ・ロタウイルス・A型肝炎等の感染症が該当します。ロタウイルスによる胃腸炎は、例年乳幼児を中心に流行しています。

② 血液・体液を介して感染：B型肝炎・ヒトパピローマウイルス等が該当します。

③ 傷口からの感染：破傷風菌は、土の中に広く存在しています。そのため、傷口から感染します。感染すると約30%が死亡します。

④ 他の生き物を媒介して感染：病原体を有する他の生き物を介して感染します。狂犬病は、ウイルスを持つ、犬・猫・コウモリなどの野生の動物に咬まれたり引っかかれたりした際、傷口から感染します。発症すると、ほぼ100%死亡します。日本脳炎・黄熱はウイルスを持つ蚊を介して感染します。日本脳炎は20～40%が死亡し、生存しても半数以上に後遺症が残ります。黄熱は約20%が死亡します。



(1) 飛沫感染



(2) 空気感染



(3) 媒介物感染

3. 予防接種（ワクチン）の重要性

例えば、予防接種を受けずに自然に感染すると、身体にその病気に対する免疫はつきませんが、重篤な合併症の危険があったり、病気が流行することで社会に多大な損失を来します。また、日本脳炎や破傷風は、人から人へは感染しませんが、生命の危険が非常に高い病気です。予防接種を受けることで、いざ感染したときに素早く免疫（感染症に対する抵抗力）が働き身体が守られ、病気に罹らずに済んだり、罹っても症状が軽くすみます。また、まわりの人に感染させないことで、まわりの人が感染症から守られます。このように、個人と社会を感染症から守るために、予防接種で予防出来る病気は、予防接種で予防することが重要です。

4. 日々の感染症予防対策

全ての感染症に予防接種はありません。予防接種の有無にかかわらず、感染症の予防には、咳エチケットと手洗いが大切です。また、糞便や嘔吐物、血液や体液が付着した物を扱う時は、必ず手袋を装着し、処理後は手洗いを行いましょう。



5. 海外渡航のための予防接種

海外では、地域によっては日本ではみられない感染症や、日本より感染の危険性が高い病気があります。また、入国時などに予防接種が要求される場合もあります。例えば、黄熱は、たとえその国で流行がみられなくても、入国時や飛行機の乗り継ぎ時に予防接種の証明を求められる国があります。海外に行く際は、厚生労働省検疫所FORTH (<https://www.forth.go.jp/index.html>) 等で、渡航先の感染症情報と予防接種について確認しましょう。

感染症を予防することは、個人や社会全体の健康を維持するために、また、グローバル化にともなう国境を越えた感染症のリスク拡大の危険を防ぐために、とても重要です。毎日の暮らしの中で、咳エチケット・手洗いを心がけることはもちろん、予防接種で予防出来る病気は、予防接種で防ぎましょう。

注) 予防接種では、感染症を防ぐ免疫をつける作用とは別の反応が起きる場合があります、副反応と言われます。注射部位の腫れや発熱といった比較的軽いものが殆どですが、ごく稀に(10万接種あたり1程度)、アナフィラキシーや神経への影響(脳炎や脳症など)など重篤な副反応を来す場合があります。予防接種に対して不安や不明なことがあれば、医師に相談しましょう。一般社団法人日本ワクチン産業協会HP内の“よぼうせっしゅのはなし <http://www.wakutin.or.jp/popular/index.html> ”・や、医療関係者向けですが“予防接種に関するQ&A集 <http://www.wakutin.or.jp/medical/index.html>”、厚生労働省HP等にも詳しく記載してあります。また、重篤な副反応が仮におきた場合には、国により、届け出と救済制度が定められています。

【参考・引用】

本文は、以下1)～7)の内容を参考・引用しています。また、表1は1)内の表を一部改変して使用しています。イラストのうち、飛沫感染・空気感染は2)から、媒介物感染は5)から引用しています。

1) 日本小児科学会「知っておきたいワクチン情報」

http://www.jpeds.or.jp/modules/general/index.php?content_id=22

2) 国立国際医療研究センター病院 AMR 臨床リファレンスセンター 感染症の基本

<http://amr.ncgm.go.jp/general/1-1-1.html>

3) NIID 国立感染症研究所 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/vaccine-j.html>

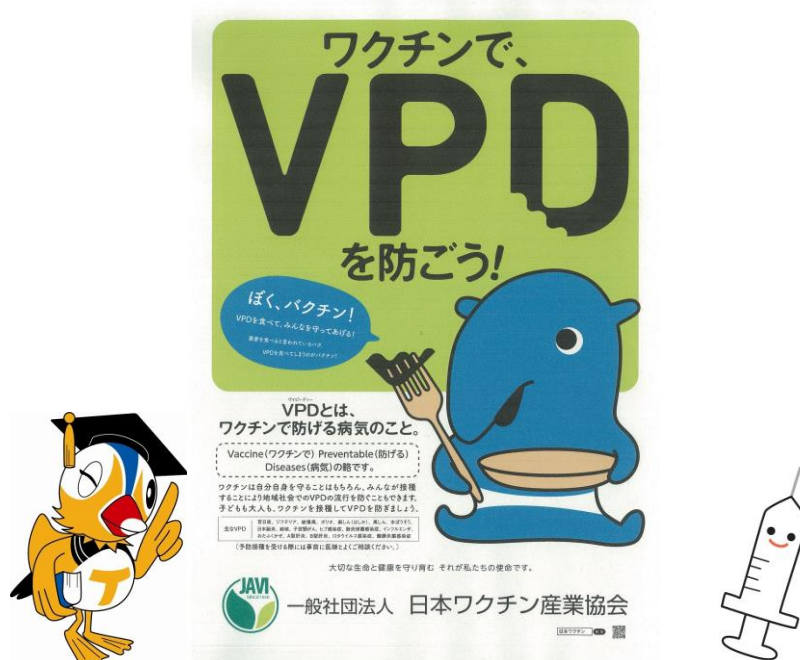
4) JAVI 一般社団法人日本ワクチン産業協会 <http://www.wakutin.or.jp/index.html>

5) 厚生労働省検疫所 FORTH <https://www.forth.go.jp/index.html>

6) 武田薬品工業株式会社 子供のための予防接種とワクチン

<http://www.takeda.co.jp/patients/disease/vaccine/>

7) 田辺三菱製薬 ワクチン.net <http://www.wakuchin.net/about/role.html>



VPD : Vaccine Preventable Diseases ワクチンで予防出来る病気のこと。

9年に1回！一大イベントの裏側レポート ～第48回中国四国保健管理保健管理集会 報告 番外編～

中国四国保健管理保健管理集会（以下、中四）は、中国四国大学の保健管理センターなど大学生の健康管理に携わる教職員が一堂に会し、識者の講演、研究発表など様々な形態で情報交換を行う貴重な会で、毎年開催されています。

中四の開催地は、中国四国の9県を順番にまわるのですが、平成30年は鳥取大学が当番となりました！

詳しくはこちら→ <https://tottoriuniv-hoken.com/>
8月29日（水）～31（金）、白兔会館で開催された中四の裏側レポートです！



入口の看板

メイン会場
白兔会館 飛翔の間



お手伝いいただいた学生生活課の方と
受付の打ち合わせ中
このときは和やかでしたが・・・

初日の受付は、てんやわんやの大忙しでした（汗）



無事に研究集会が始まりました～
みなさん真面目にお勉強中！！



中村所長、三島准教授は、挨拶をされたり、ご講演の司会をされ、大活躍です。



松原看護師は、看護分科会の進行をされました。グループワークに使用した、手作りのくじ(たくさん)に感動しました！写真がないのが残念・・・



意外と人気だったのが、会場奥のこのお茶スペース。

看護会の方々からいただいた各県のお土産をお出ししたところ、この盛況ぶり！



上のお茶スペースの管理や、学長をはじめ講師の先生方の接待をして下さった平木看護師。ありがとうございます！

ここからは、情報交換会レポートです。

30日（木）の夕方～は、懇親会を兼ねた情報交換会がありました。鳥取県産の海の幸、山の幸でおもてなしです。



情報交換会が始まりました。中央に、鳥取県産のとうふちくわや梨などの名産がずらり。学校医の堀内先生、浦木カウンセラーも参加して下さいました。

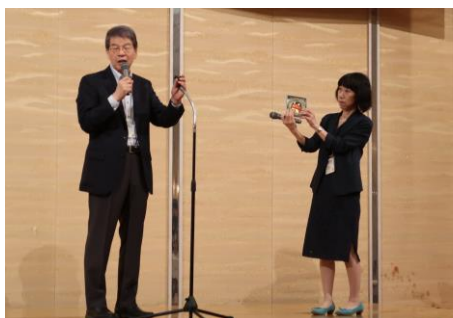


余興その① 因幡の傘踊りです。生唄に合わせて2人一組で傘の配列に高低をつけて踊るそうです。とても華やかでした♪



余興その② じゃんけん大会！これは決勝に勝ち上がった面々です。

じゃんけんの景品について熱弁中。所長の故郷「もちがせの流しびな」



最後は、みんなで岡野貞一作曲の「ふるさと」を合唱してお開きです。「春の小川」「紅葉」「桃太郎」「金太郎」もBGMやスライドショーで流しましたよ。鳥取のやさしいメロディー、皆さんに届いたでしょうか。



ところで私はといいますと、進行のアナウンスと照明係を松原看護師と一緒に担当しておりました。



最後の最後に、このお二方のご紹介。
研修集会の3日間を切り盛りし、事前準備、事後処理などを一手に引き受けて下さった事務係の尾方さんと小川さんです。お世話になりました！



不慣れなため、いくつかのハプニングがありましたが、温かな中四国の皆さまのおかげで、なんとか無事に終了しました。

8月末、9年に一度の一大イベント、あまりにも非日常的な白兔会館での3日間でした。



参加者の皆さまをお送りした後撮影したスタッフ集合写真。疲労と安堵の表情？
普段はほげかんで、ナースサンダルで過ごしている私。この写真を見ると、ヒールを3日間履き続けた足の痛さを思い出します。(笑)

(保健管理センター保健師 浜本 扇代)

学生と筋トレ

保健管理センター米子分室看護師
松原典子



2018年流行語大賞ノミネートに「筋肉は裏切らない」という言葉も出てきたように、“筋トレ”がアスリートだけのものではないと、ひろく世間に認知される時代になったと思います。今やテレビでみる多くのタレントやモデルはハードな筋トレをし、それに伴って栄養や睡眠でも努力を重ねておられるようです。身体を動かせば栄養と睡眠、生活そのものについて自分自身のことを今一度見つめ直すことが必要になり、心身の健康につながっていくものだと思います。

私はほけかんを訪れる学生と雑談や指導の場面で筋トレについて喋ります。運動歴や痩せとか肥満、男女も関係なしに、単に個人的趣味で筋肉について話をしたいだけで（笑）興味を持ち実践してくれた学生たちは目を見張る変化を遂げていきます。私にとってささやかな楽しみ、となっている学生への“ほぼ筋トレ中心な”指導の一部をご紹介します。

《男子学生 A くんの場合》

来室のきっかけは健康診断の再検査の呼び出しでした。幼い頃から肥満ぎみであったのと受験のストレスもあって入学時、体重は優に 90kg 以上、体脂肪率も 30%以上という巨漢な A くん。最初、正しい姿勢でのスクワットを指導しました。

正しく行うスクワットは膝や腰への負担を減らしますが、良い姿勢そのものを維持することがけっこうキツくてツライのです。実はスクワット 15 回は腹筋の 500 回に相当すると言われ「筋トレの王様」とも言われています。回数はゆっくり一日 1 セット 15 回から。1 ヶ月もしないうちにウエスト周りが引き締まり、ズボンがゆるくなったそうです。毎月 1 回計測と生活指導をしましたが、正しく実施さえすればめざましく体型の変化を感じられる筋トレに興味が出てきました。もともと体重が重めの人にはウエイトを使わない自重（自分の体重を利用した）トレーニングで十分な効果が得られます。自重筋トレメニューを徐々に増やし 9 ヶ月かけて体重は 10kg 以上減の 80kg 台、筋肉量も増加しました。数字だけならまだ肥満レベルですが、体脂肪率 20% 台と激減したことで首回りとうエストがスッキリとし、ほぼ標準体型となった見た目の変化は大きいです。また、筋トレによる成長ホルモン分泌の影響と思われる効果、全身にあった吹き出物が激減し、肌がきれいになりました。さらに肌に良いものを、と健康志向な食生活となり、スキンケアもプラスして現在進行形で頑張っています。

《女子学生 B さんの場合》

この方も、来室のきっかけは健康診断再検査の呼び出しでした。入学時、体重 40kg 台、BMI 18 と元々スリムな体型の B さんでしたが、2 年生 4 月の健診で体重が 10kg 以上減少し 30kg 台、BMI 14、体脂肪率が 13%と低く、大学入学以降ストレスがある、月経不順があると話されました。すぐに婦人科受診をすすめ、スクワットの指導もしました。

スクワットは下半身を中心に身体全体の約 70%の筋肉を使うので、冷え性や婦人科系不調にも有効と言われます。回数などはとくに決めず思いついたとき、トイレの中でもいいので身体がちょっと温まる程度に意識的に身体を動かすよう勧めました。わずかなスペースでも出来るのがスクワットの利点でもあります。また、少し運動するだけで脳内のエンドルフィンやセロトニンが分泌され、こころが穏やかになったり食欲が増すという効果もあります。B さんは毎月会うたび活動的になり、本来の明るい性格を取り戻しているようでした。またタンパク質をこまめに、結果的に多めに摂取することを指導すると、自炊も頑張るようになりました。9 ヶ月かかって体重を約 6kg、体脂肪率 17%に増量できました。代謝がよく痩せた人の増量はとても大変なので、よく頑張ってる、といつも褒めました。自身と向き合い、筋トレ、栄養補給、通院を継続し、ストレスやコンプレックスと戦う姿勢は、単なるスリム体型ではない「芯」があり、女性としての成長を感じました。現在は婦人科の投薬を受けながら月経も再開し、体調が良くなってきたことを実感しておられます。

他にも継続して生活や運動など指導している学生が何名かいますが、良いとき、頑張っているとき、変化に乏しいときや努力が見られないときも、他人との比較ではなく正直に客観的に評価することにしています。ただ、筋トレを行ったほとんどの学生にいえることは、美肌になり、わずかでも身長が伸びています。

対応する学生の多くは生活や睡眠リズムが乱れていたり、少々の身体不調があったとしても、なぜか「自分は健康」という過信があるようです。なので、今の生活を続けて 5 年先 10 年先もこの状態でいられると思ってる？自分は老けないと思ってる？などと問いただします。また単に痩せることや体重コントロールのみに着目するのではなく、理想の体型、少々の変化も受け入れることによってどんな良いことが期待できるか？自身にとっての健康とは？良い状態とは？など、話し合うようにしています。

日常的に意識して身体を動かすことで、勉強やサークル活動でのパフォーマンスが上がる。自信を持てるようになったり、彼氏彼女が出来たり、体型やお肌の変化とともにオシャレになっていく。飲み込みが早く、実際に変身していく学生たちへの指導はとても面白く、楽しそうに話す姿は何より喜ばしいことです。私も負けずに筋トレがんばろう。

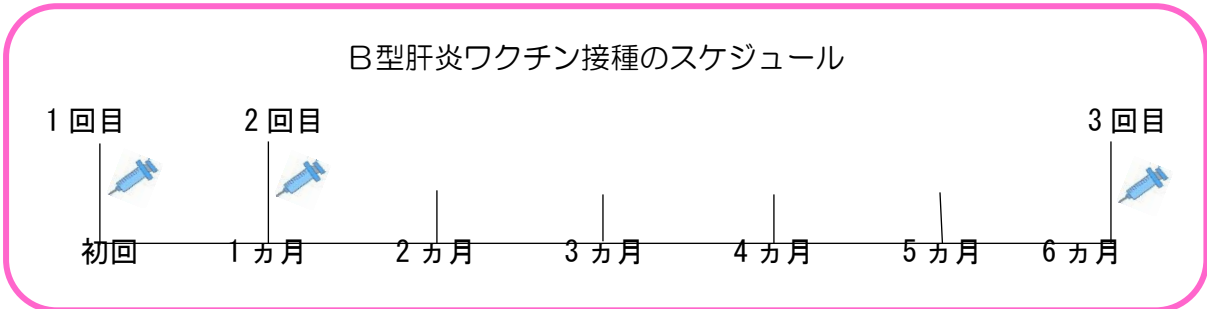
指導の機会、出会いはだいたい健康診断再検査のピックアップからなので、きちんと学生定期健康診断を受検して、気になることがあればぜひ記入欄に書いて欲しいです。不調なことばかりで無く、健康増進のためのご相談も“ほけかん”はお待ちしてますよ。

保健管理センター米子分室に勤務して約1年が経ちます看護師の長谷貴子です。

保健管理センターで勤務するのは初めてですが、新しい発見や、体験をしながら、スタッフの方々と協力し楽しく勤務しています。

保健管理センター米子分室では、医学部学生の抗体価検査・ワクチン接種実施のデータを収集しています。医学部では、麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価が十分でない場合に、感染対策（感染源にならない・自分自身が感染しない）としてワクチン接種を勧められています。またB型肝炎ウイルスは血液が付着した環境表面から、わずかな傷を介して感染する可能性があることから、B型肝炎の抗体価が陰性の学生は、将来医療従事者になることを考慮しワクチン接種を強く勧められています。B型肝炎ワクチン接種は、初回接種に引き続き、1ヵ月後、6ヵ月後の3回接種するのを1シリーズとなっています。特に6ヶ月後の接種を忘れがちです。スケジュール表や、スマートフォン機能など利用し、B型肝炎ワクチン1シーズンを行ってください。

B型肝炎ワクチン接種のスケジュール



咳エチケット

インフルエンザをはじめとして、咳やくしゃみの飛沫により感染する感染症は数多くあります。「咳エチケット」は、これらの感染症を他人に感染させないために、個人が咳・くしゃみをする際に、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえることです。特に電車や職場、学校など人が集まる場所で実践することが重要です。



手洗い

家の中や外には、目に見えないたくさんの菌が付着しています。そのため菌をもち込んだり、もち出したり、広げたりすることが考えられます。外出先から帰宅時や調理の前後、食事前、トイレの使用後、咳やくしゃみの後などこまめに手を洗いましょう。手洗いは、感染経路を遮断するためにとっても大切です。

平成30年度学生健康診断結果について

〔鳥取地区〕

平成30年度の新入生健康診断を4月4・5日、在学生の定期健康診断を4月10～18日に実施した。

健診項目は、身体計測、血圧、診察（問診）、胸部X線、尿検査である。

健康診断受診率は86.5%で昨年度より0.7%減少したが、近年の受診率はほぼ横ばいである。学部別の受診率を表1、検査項目別の受診率を表2、3、4、5に示す。

次に、胸部X線要精密検査の病院紹介、血圧・尿検査・BMIの再検査、診察・問診結果による呼出などの二次健診受診率は表6に示す。

胸部X線撮影における二次健診対象者は、受診者数2995名のうち4名（0.1%）であり、精検結果で感染性疾患はなかった。

尿検査の二次健診は、早朝尿により再検査を2回実施まで実施し、医師の診察、病院紹介等を行った。対象者延べ117名（要精検率3.1%）のうち受診者は72名（受診率61.5%）であった。

血圧測定の二次健診では、血圧の再測定、保健指導等を実施した。呼出した対象者441名（要精検率10.8%）のうち、受診者は334名（受診率75.7%）であった。

BMIについては、BMI16以下の対象者に身長・体重・体脂肪計測、血圧・視力測定、骨量測定、食事バランスチェック、医師による個別指導を実施した。また、希望者にCO測定、アルコールパッチテストを行った。対象者35名（要精検率0.9%）のうち、二次健診受診者は13名（受診率37.1%）であった。BMI27以上の二次健診は近日中に実施予定である。

（保健管理センター保健師 浜本扇代）

〔米子地区〕

米子地区の健康診断は、新入生健康診断を4月12日、在学生の定期健康診断を4月19日～25日に実施した。米子地区は、医学部医学科1年次以上と医学部生命科学科と保健学科の2年次以上の学部学生と大学院生の1,471人を対象に、学生定期健康診断を実施した。その受診状況を表7、8、9および図に示す。全員に胸部X線検査、血圧測定と尿検査を実施した。受診率は胸部X線検査の受診率は65.6%（平成29年度62.1%）、尿検査49.1%（平成29年度42.4%）であったので、受診率は胸部X線検査、尿検査ともに増加した。学科別では目立った点はみられないが、大学院学生では医学博士課程と保健学博士課程の受診率が医師・保健師等社会人を大多数含むため極めて低い。

胸部X線検査：間接撮影で要精密検査となったものは、965人中1人（要精検率0.1%）で、精検結果、感染性疾患はなかった。尿検査：精検該当判定基準は鳥取地区と同基準とした。検査項目別では蛋白精検者6人中、精検受検者は4人であった。潜血精検者9人中、精検受検者は8人であった。糖精検者は3人であった。精検結果は、要治療（指導区分D1）が1名あった。

血圧測定：精検該当判定基準は鳥取地区同基準とした。精検該当者は965人中100人（要精検率10.4%）で、精検受検者は68人であった。前年度まで測定は2回まで行っていたが1回の測定結果のみ採用しており再検査該当者が増えたものと思われる。精検結果、みな異常はなかった。

（保健管理センター米子分室看護師

松原典子）

<鳥取地区>

表1.健康診断受診率(平成30年度)

学部・大学院 学科	地域	医 生・保	工	農 生物・生命	農 獣・共獣	大学院(修士)			大学院(博士)		合計
						持続(地)・地域	持続(工)・工	持続(農・国)・農	工(博)	連(博)	
対象者数	822	171	1930	869	220	28	402	140	49	97	4728
受診者数	718	164	1644	791	196	18	376	123	15	47	4092
受診率(%)	87.3	95.9	85.2	91.0	89.1	64.3	93.5	87.9	30.6	48.5	86.5

項目別受診率

表2.X線検査受診結果(平成30年度)

学部・大学院 学科	地域	医 生・保	工	農 生物・生命	農 獣・共獣	大学院(修士)			大学院(博士)		合計
						持続(地)・地域	持続(工)・工	持続(農・国)・農	工(博)	連(博)	
対象者数	437	171	1024	438	149	28	402	140	49	97	2935
受診者数	369	164	915	409	139	18	376	122	15	47	2574
受診率(%)	84.4	95.9	89.4	93.4	93.3	64.3	93.5	87.1	30.6	48.5	87.7

注)上記に加えて、学部2・3年生の中で、今年度中に実習や海外渡航に行く予定の学生(366人)も胸部X線を実施した。

表3.尿検査受診結果(平成30年度)

学部・大学院 学科	地域	医 生・保	工	農 生物・生命	農 獣・共獣	大学院(修士)			大学院(博士)		合計
						持続(地)・地域	持続(工)・工	持続(農・国)・農	工(博)	連(博)	
対象者数	822	171	1930	869	220	28	402	140	49	97	4728
受診者数	667	162	1472	712	180	16	353	109	14	44	3729
受診率(%)	81.1	94.7	76.3	81.9	81.8	57.1	87.8	77.9	28.6	45.4	78.9

表4.血圧測定受診結果(平成30年度)

学部・大学院 学科	地域	医 生・保	工	農 生物・生命	農 獣・共獣	大学院(修士)			大学院(博士)		合計
						持続(地)・地域	持続(工)・工	持続(農・国)・農	工(博)	連(博)	
対象者数	822	171	1930	869	220	28	402	140	49	97	4728
受診者数	718	164	1644	791	196	18	376	123	15	47	4092
受診率(%)	87.3	95.9	85.2	91.0	89.1	64.3	93.5	87.9	30.6	48.5	86.5

表5.BMI受診結果(平成30年度)

学部・大学院 学科	地域	医 生・保	工	農 生物・生命	農 獣・共獣	大学院(修士)			大学院(博士)		合計
						持続(地)・地域	持続(工)・工	持続(農・国)・農	工(博)	連(博)	
対象者数	822	171	1930	869	220	28	402	140	49	97	4728
受診者数	718	164	1644	791	196	18	376	123	15	47	4092
受診率(%)	87.3	95.9	85.2	91.0	89.1	64.3	93.5	87.9	30.6	48.5	86.5

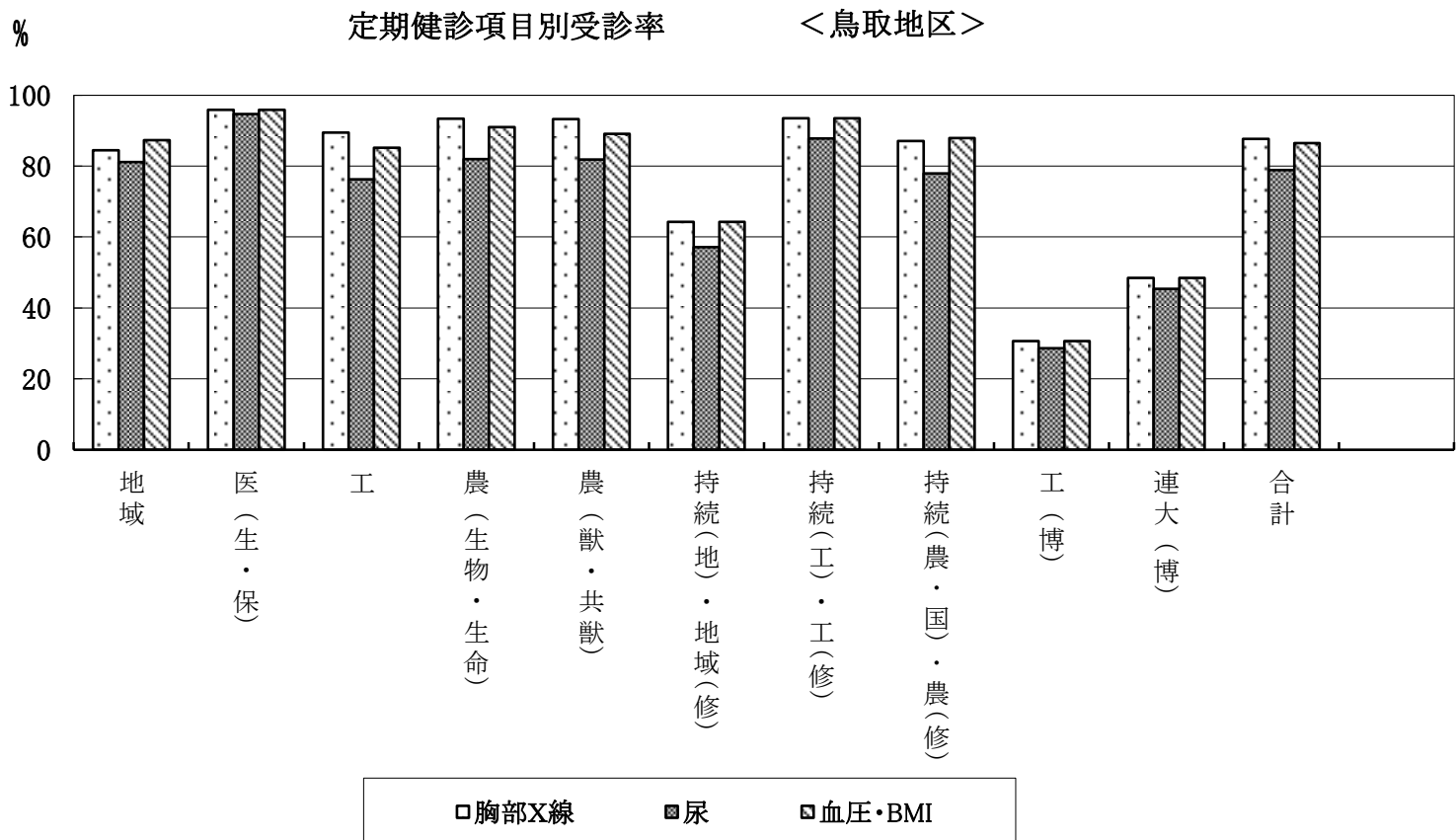


表6 平成30年度健康診断二次健診受診率(鳥取地区)

平成31年1月25日現在

平成30年5月～平成31年1月に実施

健診項目	一次健診 受診者数	呼出した検査数値 所見・症状など	二次健診 対象者数(人)	要精査率(%)	二次健診 受診者数(人)	二次健診 受診率(%)
胸部レントゲン異常	2995	要精密検査	4	0.1%	4	100.0%
診察	4092	所見あり	101	2.5%	79	78.2%
血圧	4092	140/90以上	441	10.8%	334	75.7%
尿検査	3729	糖 ++以上	7			
		潜血 1+以上	53			
		蛋白 1+以上	57			
		計(延べ)	117	3.1%	72	61.5%
BMI	4092	27以上	211	5.2%	近日中に実施予定	
		16以下	35	0.9%	13	37.1%

新入生健康診断風景



<米子地区>

表7. X線検査受診結果(平成30年度)

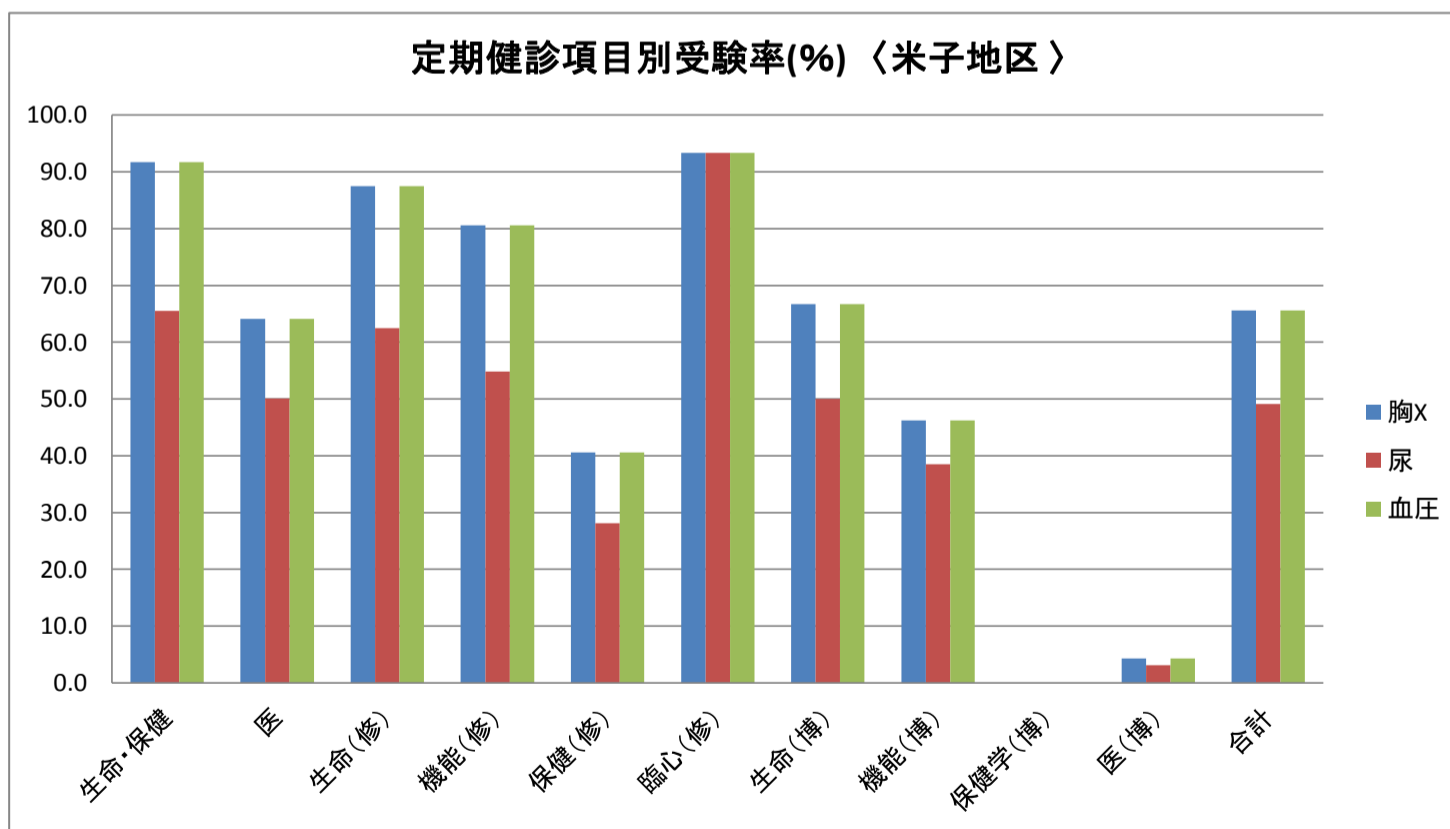
学部・大学院 学科	学部		大学院								合計
	生命・保健	医	生命(修)	機能(修)	保健(修)	臨心(修)	生命(博)	機能(博)	保健学(博)	医(博)	
対象者数	484	677	16	31	32	15	12	13	29	162	1,471
受診者数	444	434	14	25	13	14	8	6		7	965
受診率(%)	91.7	64.1	87.5	80.6	40.6	93.3	66.7	46.2		4.3	65.6
要精検者数		1									1
要精検率(%)		0.2									0.1
精検受診者数		1									1
異常者数											

表8. 尿検査受診結果(平成30年度)

学部・大学院 学科	学部		大学院								合計
	生命・保健	医	生命(修)	機能(修)	保健(修)	臨心(修)	生命(博)	機能(博)	保健学(博)	医(博)	
対象者数	484	677	16	31	32	15	12	13	29	162	1,471
受診者数	317	339	10	17	9	14	6	5		5	722
受診率(%)	65.5	50.1	62.5	54.8	28.1	93.3	50.0	38.5		3.1	49.1
要精検者数(延)	11	5				1					17
要精検率(%)	3.5	1.5				7.1					2.4
精検受診者数	7	3				1					11
異常者数	2					1					3

表9. 血圧測定受診結果(平成30年度)

学部・大学院 学科	学部		大学院								合計
	生命・保健	医	生命(修)	機能(修)	保健(修)	臨心(修)	生命(博)	機能(博)	保健学(博)	医(博)	
対象者数	484	677	16	31	32	15	12	13	29	162	1,471
受診者数	444	434	14	25	13	14	8	6		7	965
受診率(%)	91.7	64.1	87.5	80.6	40.6	93.3	66.7	46.2		4.3	65.6
要精検者数	12	79		3			5	1			100
要精検率(%)	2.7	18.2		1.2			62.5	16.7			10.4
精検受診者数	7	54		3			4				68
異常者数											



平成30年度 健康相談集計表(鳥取地区学生)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全体
健康相談	消化器	1	8	9	13	4	3		5	5	48
	呼吸器	4	21	9	10	1		9	15	12	81
	循環器			6	13	2			2		23
	代謝内分泌	1	3	1	1						6
	精神相談	74	100	105	133	86	78	108	123	101	908
	外科	5	7	5		3			1	3	24
	整形外科	2	2	2	7			4		2	19
	皮膚科	3	4	7	12	3		8	3	6	46
	耳鼻科		1		4	1	1	1	1	2	11
	眼科		3	3	4	1					11
	婦人科	2	2	3	6	4		1	1	2	21
	神経系疾患	4	1	5	7	4	2	6		4	33
	その他	24	3	12						1	40
	健康診断書		7	2	3	2		1	4	1	20
	保健業務	447	499	674	359	168	252	540	298	211	3,448
計	567	661	843	572	279	336	678	454	349	4,739	
定期健康診断	一次	4,143									4,143
	二次	6	40	329	33	11	1	3	47	15	485
臨時健診	留学生							63		16	79
	T-SPOT検査			98	61	1		54		5	219
	放射線従事者	102	86	5	1	2		24	1		221
	有機溶剤使用者										0
	計	4,251	126	432	95	14	1	144	48	36	5,147
合計	4,818	787	1,275	667	293	337	822	502	385	9,886	
保健業務	急患対応		6	12	6	2	1	3			30
	相談予約	22	26	33	78	37	14	27	19	16	272
	保健指導	273	332	511	134	37	157	395	229	147	2,215
	病院紹介	25	29	24	28	7	11	28	14	17	183
	休養室利用	5	8	9	21	3	4	5	2	3	60
	予防接種・抗体価検査に関すること	113	57	30	23	2	7	43	13	12	300
	救急バッグなど貸出	6	1	5	3		5	1	1		22
	その他	3	40	50	66	80	53	38	20	16	366
	計	447	499	674	359	168	252	540	298	211	3,448
検査	血圧	4,150	32	300	4	4		74	3	19	4,586
	尿	3,771	28	21	4	2		65	50	23	3,964
	血液		80	64	60			68			272
	計測	20	12	13	13	2		16	3	13	92
	パッチテスト	1	8	5				251	3	5	273
	骨量									28	28
	X線撮影	3,045						61			3,106
	心理検査	1	1	5	2	3	3	2	3	1	21
	その他	19	36	31	7	3	10	43	27	29	205
	計	11,007	197	439	90	14	13	580	89	118	12,547
治療	与薬	10	39	22	31	6	5	22	24	29	188
	注射										0
	処置	8	11	6	23	7	5	13	5	3	81
	診断書・紹介状	7	9	14	5	4		1	4	7	51
	その他	8	14	6	59	10	2	33	17	12	161
	計	33	46	48	118	27	12	69	50	51	481
健康診断書	自動発行機発行枚数		533	280	118	125	43	65	21	42	1,227
	センター発行枚数		17	4	4	1			4	1	31
	計	0	550	284	122	126	43	65	25	43	1,258

平成30年度 健康相談集計表(鳥取地区職員)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全体
健康相談	消化器	1				1			1		3
	呼吸器						1	1	2		4
	循環器				1						1
	代謝内分泌										0
	精神相談	1	4	1				7	3	1	17
	外科	1	2		1	3	2		1		10
	整形外科				2			2	1		5
	皮膚科				2	1		1	1	2	7
	耳鼻科			1	1			1			3
	眼科							1			1
	婦人科										0
	神経系疾患	1	1								2
	その他	18	17	17	17	8	23	15	15	24	154
	保健業務	5	17	5	35	35	27	15	11	14	164
合計	27	41	24	59	48	53	43	35	41	371	
保健業務	急患対応		1								1
	相談予約		1	2	1					1	5
	保健指導	4	7	1	23	26	21	11	7	7	107
	病院紹介	1		1	4		2		1	3	12
	休養室利用		2	1	6	6	4	4	3	2	28
	救急バッグなど貸出		4		1	3					8
	その他		2							1	3
	計	5	17	5	35	35	27	15	11	14	164
検査	血圧		2	2	1	3	2				10
	計測										0
	パッチテスト										0
	骨量						10				10
	その他	2	1	2	2	2		3	3		15
	計	2	3	4	3	5	12	3	3	0	35
治療	与薬	2	1		2	5	1	5	2		18
	注射										0
	処置	1	2		3	6	3	2	2	3	22
	診断書・紹介状								1		1
	その他	2	2	1	8		3	1	1	2	20
	計	5	5	1	13	11	7	8	6	5	61

平成30年度 健康相談集計表(米子地区学生)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全体
健康相談	消化器	8	6	8	10	2	1	3		2	40
	呼吸器	4	17	21	33	1	2	12	12	9	111
	循環器		1		1	1	1	2	1		7
	代謝内分泌				1		2				3
	精神相談	23	22	22	19	12	14	27	19	20	178
	外科	1	4	2					1		8
	整形外科	3	7	3	5		1	3			22
	皮膚科	3	8	10	7	2	3	8	5	3	49
	耳鼻科	3	3	6	1	1	1	5	6	5	31
	眼科						1				1
	婦人科	2	4	2	1			2	1	2	14
	神経系疾患	1	2	7	1	3	2	5	2	2	25
	その他	1	11	5	11	4	1	2	3	4	42
	健康診断書	2	2	6	5	2	4		1		22
	保健業務	267	159	160	183	59	49	142	109	99	1,227
計	318	246	252	278	87	82	211	160	146	1,780	
定期健康診断	一次	1,114									1,114
	二次	3	121	41	59	7			2		233
臨時健診	留学生										0
	T-SPOT検査										0
	放射線従事者		11								11
	有機溶剤使用者										0
	計	1,117	132	41	59	7	0	0	2	0	1,358
合計		1,435	378	293	337	94	82	211	162	146	3,138
保健業務	急患対応	5	7	4	1	1	1	3	2		24
	相談予約	37	24	27	22	14	20	31	22	23	220
	保健指導	35	46	62	81	18	11	48	46	34	381
	病院紹介	12	14	13	23	6	3	5	11	10	97
	休養室利用	16	23	22	24	5	4	15	11	17	137
	予防接種・抗体価検査に関すること	142	24	13	12	12	6	10	9	11	239
	救急バッグなど貸出				2		2	14			18
	その他	20	21	19	18	3	2	16	8	4	111
	計	267	159	160	183	59	49	142	109	99	1,227
検査	血圧	1,099	19	30	29	9	5	27	18	14	1,250
	尿	731	155	6	15	5			1	1	914
	血液		4	87	55			5			151
	計測	4	6	1	8	1		4	2	2	28
	パッチテスト		27	2	1			10	1		41
	骨量		27	2				35	1		65
	X線撮影		1,092								1,092
	心理検査				1			1			2
	その他	7	20	3	3	3	1	1			38
	計	1,841	1,350	131	112	18	6	83	23	17	3,581
治療	与薬	13	27	42	44	6	7	30	25	18	212
	注射		1	3	5			2	1		12
	処置	4	10	6	10	2	3	9	5	3	52
	診断書・紹介状	2	2	2	7	1		1	2	2	19
	その他		1	1	3	1	1				7
	計	19	41	54	69	10	11	42	33	23	302
健康診断書	自動発行機発行枚数	227	164	6	7	1	2	7			414
	センター発行枚数	2	2	12	5	1	4		2		28
	計	229	166	18	12	2	6	7	2	0	442

平成30年度 健康相談集計表(米子地区職員)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全体	
健康相談	消化器						1		1		2	
	呼吸器	2	2	2	1	4		1	4	2	18	
	循環器										0	
	代謝内分泌										0	
	精神相談				1						1	
	外科										0	
	整形外科				1						1	
	皮膚科								2		2	
	耳鼻科								1		1	
	眼科										0	
	婦人科										0	
	神経系疾患			1							1	2
	その他				1			1				2
	保健業務	3	7	6	11	5	3	5	4	7	51	
合計	5	9	9	15	9	5	9	9	10	80		
保健業務	急患対応		4		1						5	
	相談予約						1				1	
	保健指導	2	2	4	4	4		4	3	4	27	
	病院紹介				1	1	1				3	
	休養室利用										0	
	救急バッグなど貸出		1		1				1		3	
	その他	1		2	4		1	1		3	12	
	計	3	7	6	11	5	3	5	4	7	51	
検査	血圧			1	1						2	
	計測										0	
	パッチテスト										0	
	骨量										0	
	その他										0	
	計	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	
治療	与薬	2	2	4	2	4	2	2	4	3	25	
	注射										0	
	処置		1		4				2		7	
	診断書・紹介状										0	
	その他										0	
	計	2	3	4	6	4	2	4	4	3	32	

* 学生教育研究災害傷害保険 *

保健管理センター 看護師 平木由布

平成30年度 保険金請求

	正課中・学校行事中
	通学中・学校施設内
	課外活動中
	学研賠

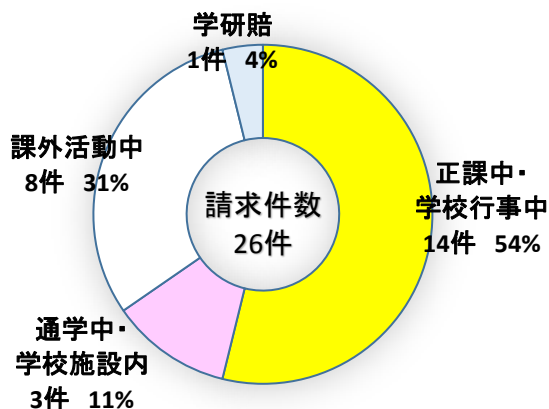
【 学研災 】

No	発生区分	所属	病名	入院	治療日数	保険金(円)
1	学校行事中(スキー研修)	連合農学研究科	右足首捻挫		2	3,000
2	正課中(理系実験実習)	農学部	液体窒素による右第3・4手指凍傷		1	3,000
3	学校施設内(自転車)	連合農学研究科	第1腰椎圧迫骨折・後遺障害	13	26	2,332,000
4	課外活動中(フットサル)	工学部	右アキレス腱断裂	2	11	8,000
5	学校行事中(スキー研修)	連合農学研究科	左肘関節靭帯損傷		4	6,000
6	正課中(体育実技)	工学部	右足首捻挫		8	15,000
7	正課中(医療実習)	医学部	患者血液飛散による左眼混入		1	15,000
8	正課中(理系実験実習)	工学部	右第2手指切創		3	3,000
9	学校行事中(清掃作業)	持続性社会創生科学研究科	右手ムカデ咬症		1	3,000
10	課外活動中(バレーボール)	医学部	左足首靭帯断裂		16	30,000
11	通学中(自転車)	地域学部	腰部筋筋膜炎		76	80,000
12	正課中(医療実習)	農学部	皮膚糸状菌症・皮膚炎		1	3,000
13	課外活動中(陸上)	農学部	左股関節捻挫・左大腿部下挫傷		17	30,000
14	課外活動中(フットサル)	工学部	右アキレス腱再断裂	2	48	58,000
15	通学中(徒歩)	農学部	右手首骨折		38	50,000
16	課外活動中(フットサル)	工学部	鼻骨骨折	4	3	16,000
17	正課中(理系実験実習)	持続性社会創生科学研究科	右手掌切創		3	請求中
18	正課中(体育実技)	農学部	右第2手指骨骨折		4	6,000
19	正課中(体育実技)	医学部	左足関節外側靭帯損傷		85	80,000
20	課外活動中(バスケット)	医学部	右前十字靭帯断裂・内側半月板損傷	10	32	90,000
21	課外活動中(準硬式野球)	地域学部	鼻骨骨折	4	4	16,000
22	課外活動中(ラグビー)	医学部	右大腿筋挫傷		18	30,000
23	正課中(理系実験実習)	農学部	右手掌熱傷		2	3,000
24	学校行事中(スキー研修)	地域学部	右頬擦過傷		3	請求中
25	正課中(理系実験実習)	農学部	両第1手指裂傷		2	請求中

【 学研賠 】

1	通学中(自転車)	農学部	自動車との接触事故	請求中
---	----------	-----	-----------	-----

H30年度保険金請求件数



■ 正課中・学校行事中 ■ 通学中・学校施設内 ■ 課外活動中 ■ 学研賠

※平成30年度の保険金請求は3月初旬までのものです。
 ※ケガのない健康的な学生生活をこころがけてください。



ケガをされた場合は、
 早めに保健管理センターへ
 届け出るようにしましょう。

学生教育研究災害傷害保険（学研災）・付帯賠償責任保険（学研賠）加入状況

保健管理センター看護師 平木 由布

平成30年度

所属	地域学部		医学部		工学部		農学部		持続性社会創 生科学研究科		地域学 研究科		医学系 研究科		工学 研究科		農学 研究科		連合農学 研究科		付属教育 研究施設 等		計
	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	
4月	204	82	299	85	492	107	265	261	284	96			48	17	3	1			9		1		2254
5月	2	11	2	2	3	9			1	2			2						2	1			37
6月	1	5		1	1	4		4											2				18
7月		8		1				6		4													19
8月		6			1	2	1	7	1	7					1	2			1	1			30
9月		4							3	3					1				2				13
10月	26		4		6		2		5				1		3				3		3		53
11月							1			2									1				4
12月										1			1						1				3
1月		1						1		1													3
2月		2		1		1	1						1										6
3月								1															1
計	233	119	305	90	503	123	270	280	294	116	0	0	53	17	8	3	0	0	21	2	4	0	2441

平成29年度

所属	地域学部		医学部		工学部		農学部		持続性社会創 生科学研究科		地域学 研究科		医学系 研究科		工学 研究科		農学 研究科		連合農学 研究科		付属教育 研究施設 等		計	
	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠	学 研 災	学 研 賠		
4月	199	80	298	28	466	16	269	45	266	6		2	50	3	9	0	0	0	10	0	2	0	1749	
5月	0	8	0	0	2	2	0	1	2	1			1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	20	
6月	0	5	0	3	0	1	0	4	0	2			0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	16	
7月	0	4	0	4	0	7	1	5	0	3			0	0	0	3	0	1	1	0	0	0	29	
8月	0	11	0	3	0	7	1	5	0	8			0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	36	
9月	0	0	0	1	0	0		1	0	2			0	0	1	0	0	1	7	0	0	0	13	
10月	32	0	0	0	21	2	2	0	10	2			0	0	2	0	0	0	9	0	3	0	83	
11月	0	1	0	0	14	0	0	0	0	0			1	1	3	0	0	0	2	0	0	0	22	
12月	0	0	0	0	3	0	0	0	2	2			0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8	
1月	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
3月																								
計	231	109	298	39	506	35	275	62	280	26		2	52	4	16	4	0	2	32	0	6	0	1979	



掲 示 板



○保健管理センターの利用について

保健管理センターは、学生と職員が心身共に健康な生活が送れるようにお手伝いするところです。日頃から皆さんの様々な相談に応じています。

自分の身体に心配なことがある、「夜眠れない」「学習がうまくすすまない」「大学生活になじめない」など心の悩みを持っている人は、気軽に相談においでください。保健管理センターでは、専任の教員（精神科医，脳神経内科医）、学校医（内科医，精神科医）及びカウンセラー（臨床心理士）により，身体面・精神面の健康相談や診察、進路・修学・性格などの悩みのカウンセリングを行っています。原則として予約制ですので、窓口または電話で予約して下さい。

また、学内でのケガ、体調不良には、医師・保健師・看護師が必要な応急処置を行います。

センターのオープンスペースにある身長体重計・体組成計・血圧計・視力計などは自由に利用できます。救急箱・松葉杖・様々な図書の貸出も行っています。詳しくは保健管理センターのホームページをご覧ください。

<https://www.tottori-u.ac.jp/2135.htm>

○健康診断と健康診断証明書の発行について

毎年4月に、学校保健法等で定められている新入生対象の新入生健康診断、在学生対象の定期健康診断を行っています。自分の健康を管理し、健やかで実り多い学生生活が送れるよう、毎年必ず受診しましょう。

就職活動などに必要な健康診断証明書は、5月中旬頃より共通教育棟A棟（医学部は学務課）の自動発行機で発行しています。発行できない場合は保健管理センターにお問い合わせ下さい。尿検査の未提出、再検査や診察が必要な場合は、発行までに時間がかかりますので、余裕を持って早めにお問い合わせ下さい。健康診断結果は、学務支援システムでも確認できます。

○学生教育研究災害傷害保険について

2018度から、加入手続きが、ゆうちょ銀行又は郵便局窓口で、払込取扱票による振込に変更となっています！！

この保険制度は、正課、学校行事、課外活動、通学中および学校施設内での傷害事故（ケガなど）に対しての補償制度で、本学では全員加入となっています。保険内容の詳細については、「学生教育研究災害傷害保険のしおり」をご参照下さい。

事故が発生した際の保険金請求手続は、保健管理センターにお問い合わせ下さい。



保健管理センターだより NO. 49

平成31年3月

編集発行 鳥取大学保健管理センター
〒680-0945 鳥取市湖山町南4丁目101番地
TEL 0857-31-5065
FAX 0857-31-5565
メール: hokekan@ml.adm.tottori-u.ac.jp